

厚木基地における夜間連続離着陸訓練に係る要請結果について

米空母キティホーク艦載機の夜間連続離着陸訓練(NLP)について、日本政府及び米軍に対し、その中止等を要請した結果、外務省等から次のとおり回答がありました。なお、駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米海軍司令官へは要請文書を郵送しました。

外務省:厚木基地周辺住民の騒音被害などの負担についても十分承知している。前回、7年ぶりにジェット機によるNLPが実施されたことは、申し訳なく思っている。可能な限り騒音軽減に努めるよう、米側へ申し入れをするなどの努力をしており、今回のNLPについてもすでに申し入れをしているところだが、今後とも最大限のことをやっていきたい。(西宮伸一 北米局長)

防衛省:NLPの実施による周辺住民への被害は深刻なものだと認識しており、騒音軽減についても、政府としても重要な課題だと考えている。もとより、皆様からの要請を受け、天候等の事情があっても可能な限り極力硫黄島で訓練を行うよう米側に強く申し入れをしてきており、引き続き申し入れていきたい。

また、在日米軍再編のプログラムに基づき、岩国への艦載機移駐についても、政府としても全力をあげて努力しているところであるので御理解いただきたい。(地引良幸 地方協力局長)

厚木航空施設:悪天候以外では、離着陸訓練は全て硫黄島で実施する予定である。騒音軽減には最大限努力しているが、訓練はやらざるを得ず、運用上、騒音をゼロにすることは不可能であることを御理解いただきたい。(清水美弘 渉外部長)